日蓮宗 法音寺

法音

今月のご法話

感謝の心で生きる



令和7年
2月号
No.664

悦可衆心

よい教えを伝えよう

今日一日、
人に感謝しましょう
今日一日、
人に親切にしましょう
今日一日、
人を善に導きましょう

月刊・法音　令和7年2月号 No.664　目次

【信仰の指針】堅忍　七転び八起きの精神が大事です ―― 1
【朝のこない夜はない】
感謝の心で生きる　山首　鈴木正修 ―― 2
◆令和7年新年祝祷会ご報告 ―― 19
◆節分会のご案内 ―― 22
◆講日のご案内 ―― 23
◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください ―― 24
◆青少年育成道場のお知らせ ―― 26
◆仏教漫画『日蓮さま』・34佐渡一谷 ―― 27
◆佐渡一谷 ―― 35
◆お寺の本棚 ―― 36
◆常寂光土への誘い (31) ―― 38
◆季刊誌ひなた ―― 41
◆のりのね体験 ―― 42
◆顕修院日達上人 第十三回忌御祥月命日 報恩唱題行開催 ―― 44
◆鈴木宗音上人13回忌に寄せ日本福祉大学を語るの記事が仏教タイムスに掲載されました ―― 45
◆支院だより ―― 46
◆法音寺は「信仰と福祉のお寺」です ―― 76
◆福祉のひろば ―― 77
○幸せのお手伝い ―― 78
○昭徳会・新年祝祷会に昭徳会ブースを出店 ―― 80
○日本福祉大学・「看護教育」について、学長が教員をインタビュー ―― 82
◆賛助員ご芳名 ―― 84
◆幸せの種まき／編集後記 ―― 88
◆連載まんが・ひまわり・145　思いの種まき ―― 89
◆法音寺の社会福祉・教育事業

掲載写真　表紙・信仰の指針　3頁～18頁・23頁：梅田雅臣氏撮影
2頁・19頁～22頁：加納将人氏撮影
表紙写真・水仙

信仰の指針

堅忍（けんにん）

七転び八起きの
精神が大事です

日教友



ヤツデ



朝のこない夜はない

山首　鈴木正修

感謝の心で生きる

昨年12月に当山第二世顕修院日達上人の第十三回忌御報恩法要を厳修させていただきました。

昭和37年6月7日に御開山上人が御遷化され、日達上人は32歳の若さで、すべての役職を引き継がれました。法音寺住職、日本福祉大学理事長・学長、付属高校校長、昭徳会理事長、駒方保育園園長等です。その中でも大学の経営は非常に大変でした。

大学は開学当初から、経営が火の車のような状態でした。御開山上人が忘年会の席上、「大学の経営も火の車ですが、火の車というのは、回るのが不思議ですな」と冗談を言うほかないほど、本当に大変な状況でした。その理由は、予定していた国からの補助金がなかったから



です。当時の日本は自衛隊の前身である警察予備隊を創設することになり、それに予算が割かれることで、当時の厚生省は大学（当時は短大）への補助金支給ができなくなってしまったのです。

また、御開山上人は優秀な先生を集めるために国立大学並みの給料を保証し、更に研究費も充分に出し、貧しい中にあっても志の高い学生に来てもらいたいと、学費を国立大学並みに低額にし、学生寮もつくられました。ですから支出は多く、収入は少ない状況で、非常に経営が厳しかったのです。そのような状況の中、日達上人が大学の理事長・学長を継がれた時、当時のお寺の総代さんから「御開山上人は『大学の経営が本当に大変だったら、外部の方にやってもらってもいい』とおっしゃっていましたよ」と言われたそうです。それに対して日達上人はニコっとして「なんとかなりますよ」と言われたそ



うです。

日達上人は法灯を継承された年に大荒行に入行されました。そこへ総代さん達が面会に来られて、「山首さま、今年はどうにか大学のことで銀行から借金をせずに済みました」と言われたそうです。日達上人が「それは良かった。経営が好転したのですか？」と聞かれると、「違います。御前さま（御開山上人）が亡くなられて、皆さまから香典を戴いて、それでどうにか銀行から借金をせずに済んだのです」ということでした。

その後、日達上人の不惜身命の精進と多くの皆さんの御助力によって借金は完済され、経営も順調に軌道に乗ったということです。

日達上人が御法話で、皆さん御存知の一休和尚の話をされたことがあります。

一休和尚の晩年に応仁の乱という京の都を焼き尽くす



大乱が起こりました。これは十年も続き、一休和尚のいた大徳寺も焼け落ちてしまいました。応仁の乱の後、一休和尚やお弟子さん、信者さん達の尽力で大徳寺は復興したのですが、その後、一休和尚は「また応仁の乱のようなことがないとも限らない。その時のための心構えを書き置きしておくから、もしそういうことがあったら、この文庫を開けて読むように」とお弟子さん達に言い残して亡くなりました。

一休和尚が亡くなった後、お弟子さん達は書き置きを見たくて仕方がなかったため、別に何か起こったわけではないのですが、その書き置きを見てしまいました。そこには「なんとかなる」とだけ書いてあったということです。

その御法話を聞いた後、日達上人に「おもしろい話ですね」と申し上げると、日達上人は「本当だぞ」と言わ



れました。それに対し、「あれは実話なのですか？」と聞き返しますと、「いや、違う。一休さんのことだから頓知話の類いだろう。しかし『なんとかなる』というのは本当だ。あきらめなければなんとかなるものだ」と言われました。その言葉の裏には大学経営の体験があったと思います。

パナソニックの創業者、松下幸之助さんが言われています。

「失敗の原因は、成功する前にあきらめてしまうことだ」

ホンダの創業者、本田宗一郎さんも言われています。

「私は失敗したことがない。成功するまであきらめないからだ」

歴史上の人物で、あきらめることを知らなかった偉大な人物がいます。発明王トーマス・エジソンです。エジ



ソンは、白熱電球のフィラメントを発明するまでに一万回失敗しています。紙、人間の髪の毛、近所のおじさんの髭など、思いあたるありとあらゆるものを使い、たどり着いたのが竹でした。最初は２００時間位明かりが灯ったそうです。そこで、自分の部下達に世界中の竹を集めさせました。その中で日本の京都の竹が一番良くて、１２００時間も明かりが灯り続けたそうです。そして京都の竹を輸入して白熱電球を売り出したのです。

余談ですが、今や掃除機の代名詞と言えば「ダイソン」です。これを発明したジェームズ・ダイソンさんもサイクロン式掃除機を完成させるまでに５１２６回失敗したそうです。ダイソンさんの尊敬する人物は本田宗一郎さんだそうです。

ある人がエジソンに「そんなに失敗して、もう止めた方がいいんじゃないか」と言うと、エジソンは「いや、



失敗は発見であり、小さな成功なんだ。最後に大きな発見、大成功が待っているんだ」と答えました。この考え方はエジソンのお母さんの教育の賜なのです。

幼少期のエジソンは変わった子どもでした。小学校の先生が「1たす1は2です」というと、「先生、1たす1は1になることもあります」と粘土をもってきてペタッとくっつけて「この通り、1たす1は1になりました」とやったのです。先生は怒って「もう学校に来なくていい」と言ったそうです。するとエジソンは大喜びで家に帰って実験を繰り返し、お母さんが先生の代わりにエジソンを教育しました。ある時のことです。ガチョウの卵を巣から取って来てエジソンは自分で巣を作り、親鳥と同じように自分のお尻で温めましたが、当然孵化しません。通りがかった人達はバカにしましたが、お母さんは違っていました。「良かったね。あなたのお尻では孵化



しないことがわかったのは大発見ね！」と言ったのです。エジソンはどんな失敗も一つの発見なんだとお母さんに教えられたのです。

日達上人に話を戻します。日達上人がニコッとして、「大丈夫ですよ。なんとかなりますよ」と信者さんに言われた時のあの感じが私は好きでした。皆さん、日達上人に言われると、本当に大丈夫だと感じ、なんとかなる気がされたと思いますし、そうなったのではないでしょうか。〝あの雰囲気は日達上人ならではのものだったな〟と、今、思います。

私が大学浪人をしていた頃のことです。日達上人は早稲田大学卒業で、私も早稲田大学を志望していました。当時「早稲田模試」という模擬試験があり、それを受け



たところ、「人事を尽くして天命を待て」という結果でした。つまり、〝ほとんど可能性がないから、もう神頼みしかない〟ということです。日達上人にその結果を見せると、「大丈夫だ」と言われました。私が「大丈夫ですか？受かりますか？」と聞くと、「いやそうじゃない。受かっても落ちても人生に大した影響はないから大丈夫なんだ」と言われ、〝そんなものかな〟と思ったのを覚えています。日達上人らしい言葉です。その言葉で気が楽になったのか、合格することができました。

これも余談ですが、浪人時代に入江塾を主催しておられた入江伸さんの本を何冊も読みました。入江塾は超スパルタ式で生徒が半泣きで授業を受けている姿をテレビで見たことがあります。しかし、それに耐え抜いた生徒は、灘やラサールといった超一流校に受かるのです。タ



レントのラサール石井さんがある週刊誌に入江伸さんのことを書いていました。石井さんは入江塾の出身です。ラサール高校に受かった時、直接入江先生にお礼に行くと先客がありました。どうも漏れてくる声に元気がないのです。普通、受かった生徒は直接御礼を言いに来て、落ちた生徒は入江先生が怖いから電話で済ませてしまうのですが、その生徒は「先生にあんなに一生懸命教えてもらったのに、落ちてしまって申し訳ありませんでした」と直接謝りに来ていたのです。すると、あの鬼のように怖かった入江先生が言ったそうです。

「気にしなくていいぞ。受験なんて落ちたって大したことはないんだ。人生は甘くないとよく言うが、あれは嘘だ。実は大甘なんだ。やる気さえあれば、何度でもやり直せるんだ。受験に落ちたことなんか屁でもないぞ」

これを聞いて石井さんは、怖かった入江先生のことが



大好きになったそうです。日達上人の「あきらめなければなんとかなる」に通ずる話だと思います。

この度、日達上人第十三回忌御報恩浄業として、御法話集『大白牛車』を発刊しました。副題が「堪忍読本」です。たくさんの堪忍のお話がおさめられています。冒頭、御開山上人の最期の御詠「腹立つな物を苦にせず感謝せよ天の恵みに福徳を増す」が示され、そして「このお歌は堪忍をしよう、我慢をしようということではありません。これは感謝をしようということを教えておられるのです。身の回りのすべてのことに感謝できるようになると、腹の立つようなことは一切なくなりますよ」と日達上人は解説しておられます。確かに感謝のできる人は自ずと堪忍もできると思います。私達が一番感謝しなければいけないことは、〝命をいただいていること〟だ



と思います。これほどありがたいことはほかにありません。

今から２５０年程前、イマヌエル・カントという大哲学者がドイツにいました。フランスのルネ・デカルトと並び称される人です。カントは生まれつき病弱で体の小さい人でした。脈拍がいつも１２０もあったそうです。絶えず動悸があり、喘息も患っていたので、いつも呼吸がゼーゼーとなり「苦しい。辛い」という言葉が口ぐせのようになっていました。両親や兄弟はそれを聞いて、どうにかしてやりたいと思うのですが、お父さんは貧しい馬具職人で、お医者さんにかからせることができませんでした。初めてお医者さんに診てもらったのが17歳の時でした。17歳なのにカントは身長が１５０センチしかありませんでした。胸が非常に薄く、とてもやせていま



した。カントがお医者さんにかかることができたのは、当時、貧しい人達のために巡回してくるお医者さんがいたからです。そのお医者さんはカントを診て言いました。

「これでは確かに苦しかろう。辛かろう。しかし残念だが今の医学では治すことはできない。しかし、君の心は病んではいないだろ。命があることに感謝して生きていきなさい。そして君が『苦しい。辛い』と言うと、君のお父さん（お母さんはすでに亡くなっていました）や兄弟はもっと辛くなる。だから、そのような言葉を我慢しなさい。逆に苦しい時ほど無理をしてでも笑顔で過ごしなさい」

17歳のカントは、その言葉を聞いてその通りだと素直に思ったのです。〝いつも自分が「苦しい。辛い」と言っていては、確かに周りの人は辛いだろう。これからはそういう言葉を口にするのはやめよう。笑顔で過ごそう。



もう今日限り絶対に愚痴は言わない〃と誓ったのです。

それからカントは〃自分はいつまで生きられるかわからない。だから、とにかく人の何倍も勉強しなければ〃と思い、努力の結果、名門のケーニヒスベルク大学に入学しました。大学を出て教授になり、ついには総長になり、大哲学者と言われる人になるわけです。

カントは散歩が日課でした。散歩の時間が非常に正確で、カントが歩いているのを見て、近所の人が時計の針を直したというぐらい正確に歩いたそうです。これには〃規則正しい生活をして健康を管理しよう〃という目的があったそうです。

また余談ですが、若い頃に読んだ渡部昇一先生の『知的生活の方法』の中にカントの話が出ていました。カントは一日一食、昼食のみだったそうです。毎日大勢の客



と一緒にワインを飲みながら、長い時には5時間ぐらい会食をしたそうです。カントはとても社交的で、また座談の名手でした。そのおもしろい話を聞くために実業家や貴婦人達が我を争って訪問したのです。カントの方はいろいろな人からさまざまな話を聞き、自己の思想の栄養としていました。会食後は毎日一時間散歩をし、思索に耽り、ときに重要な思いつきを手帳に書きつけたということです。

カントは大事なことを証明しました。当時、人間は一つの機械のように思われていました。要するに、心は横に置いておいて、人間は生命のある機械のようなものだと思われていたのです。それに対してカントは言いました。

「それは違う。人間は心だ。いつ死ぬかわからないような子どもが70歳を過ぎても健康に生きることができた」



カントは生涯、大病をすることがなかったそうです。この元は心にありました。心の持ちようが何より大事なのです。

日達上人の言われるところの〝感謝の心で生きる〟ということです。



令和7年『新年祝祷会』






















御供
進師法縁法音会















・令和７年・

節分会

（開運厄除け祈願）



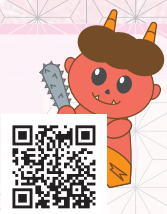




YouTubeで学ぼう！

節分って？

節分とはなぜ節分というのでしょうか?鬼はなぜ角があってトラのパンツ（ふんどし）なのでしょうか?
知っているようで知らない節分を説明しています。



※法音寺では、厄年に関係なく、どなたでもお申込みできます。
駐車場には限りがありますので、公共交通機関を利用してお越しください。

詳しくは、各支院・布教所までお問い合わせください。

良い教えの話を聞きましょう。
全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で
三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

❖今月の山首上人さまご親修日程

大阪支院	2月1日(土)	岡山支院	2月8日(土)
福山支院	2月9日(日)	東京支院	2月11日(祝)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	1日・11日・22日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
静岡支院	3日・12日・22日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	1日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	9日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	11日・22日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・16日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	8日・15日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	1日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・14日・23日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈058〉391－9733
大垣支院	1日・11日・23日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・9日・23日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	9日・16日・23日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	9日・11日・23日	郡上市八幡町小野7211－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	1日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・11日・20日	京都市上京区北横町360	☎〈075〉231－3437
高槻支院	11日・21日	高槻市天神町1－9－2	☎〈072〉685－1003
大阪支院	1日・9日・23日	大阪市此花区西九条3－4－41	☎〈06〉6465－5051
和泉支院	8日・15日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎〈072〉466－3112
神戸支院	8日・21日	神戸市兵庫区五宮19－17	☎〈078〉360－4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎〈0799〉42－0175
岡山支院	8日・23日	岡山市南区若葉町1－16	☎〈086〉262－0818
高知布教所	11日	高知市上町5－5－39	☎〈088〉823－1983
福山支院	9日・16日	福山市西町3－19－5	☎〈084〉921－3078
三原支院	8日・23日	三原市皆実2－9－22	☎〈0848〉62－5087
安芸津支院	9日・16日・23日	東広島市安芸津町三津3765－3	☎〈0846〉45－4012
坂　支院	9日	広島県安芸郡坂町坂東2－24－12	☎〈082〉885－1064
福岡支院	2日・15日・16日	福岡市早良区城西2－11－37	☎〈092〉821－7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎〈0920〉44－5445
筑後布教所	9日・23日	筑後市大字西牟田5954－1	☎〈0942〉53－7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502－1	☎〈0964〉58－0742
田川支院	9日・24日	田川市春日町7－30	☎〈0947〉42－1819
名古屋地区	2日・7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3－3	☎〈052〉831－7135
瀬戸布教所	9日・19日・22日	瀬戸市東本町2－20	☎〈0561〉85－6860
亀岡布教所	9日・23日	亀岡市篠町篠牧田73－1	☎〈0771〉25－7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。（掲載順不同）

第53回 青少年育成道場



日　時　令和7年3月30日（日）
午前7時30分～午後2時30分

場　所　法音寺大本堂

対　象　15歳～35歳

持ち物　念珠・経本・筆記用具

参加費　無料

お申込み締め切り
令和7年 3月7日（金）まで

主なプログラム

- 山首上人さまご法話
- 青年会員体験発表
- ディスカッション





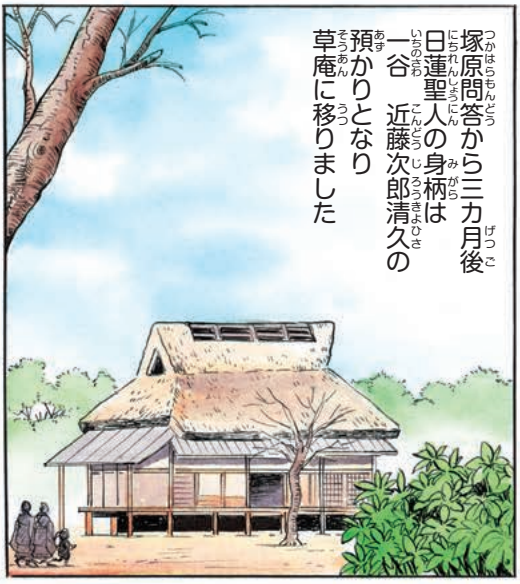


お申込み・お問い合わせ ≫ **青少年育成委員会**（各支院/布教所まで）

日蓮さま

34 佐渡一谷




塚原問答から三カ月後
日蓮聖人の身柄は
一谷　近藤次郎清久の
預かりとなり
草庵に移りました


鎌倉では囚われていた
信者達は釈放され
日朗も土牢から
解き放たれました
日朗殿
好きなだけ
わが屋敷に
逗留くだされ
宿屋殿
ありがとう
ございます


佐渡
一谷草庵




如来寿量品には
この世界は
仏さまの住む
常寂光土だとある


汚れと苦しみに満ちた
この世の中を少しでも
仏さまの願っている
清らかな世の中にするのが
私達の務めなのだ

本仏釈尊の魂
肝心の題目を
受持する道こそ
大切なのだ

諸天善神よ
何卒
法華経を弘める
機会を今一度
お与えください

お上人さま
鎌倉から
客人が
おみえです

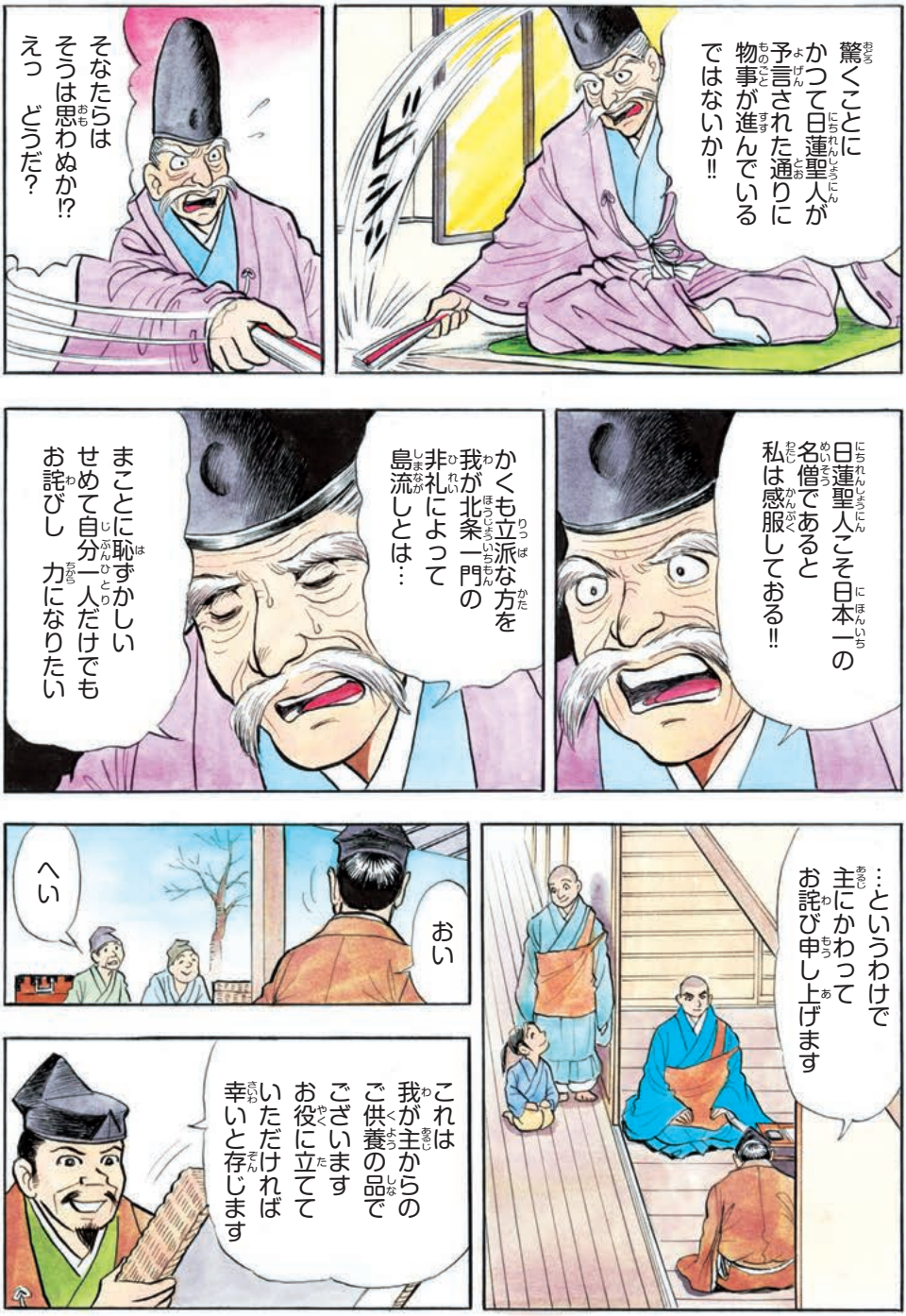
我が主は北条一門の
北条弥源太

それがし
主の命を受け
参上いたした

主
北条弥源太は
こう申して
おりました

数多くの天災地変
幕府内での謀反
近頃の蒙古軍の
動きなどは
皆も知っておろう

北条弥源太


驚くことに
かつて日蓮聖人が
予言された通りに
物事が進んでいる
ではないか!!
ビシッ
そなたらは
そうは思わぬか!?
えっ　どうだ?
日蓮聖人こそ日本一の
名僧であると
私は感服しておる!!
かくも立派な方を
我が北条一門の
非礼によって
島流しとは…
まことに恥ずかしい
せめて自分一人だけでも
お詫びし　力になりたい
…というわけで
主にかわって
お詫び申し上げます
おい
へい
これは
我が主からの
ご供養の品で
ございます
お役に立てて
いただければ
幸いと存じます


これは　かたじけない
ご主人によろしく
お伝えください
おうこれは
ありがたい
綿に衣
紙まで…
お餅も
あるよ
あなたさまを
こんな目にあわせている
北条家を　許せない
ことでしょうね
いいえ
私には怒りの気持ちは
まったくありませぬ
なんの怒りも
感じない
というのですか
はい
北条家を一度も
恨んだことなど
ありませぬ
そんなこと
信じられません
「怒りの心」は実に
恐ろしいものです
怒れば地獄
自分の身が
破滅するだけです
つらい思いをさせられるのは
自分が　かつて誰かに
つらい思いをさせたからです

しかし北条一門は
あなたさまを迫害し
このような地獄とも
いえる　島へ流罪を
申しつけたのですぞ

それでいて　どうして
静かな落ち着いた心で
いらっしゃるのですか

日蓮にとって
極寒の佐渡も
また寂光土

この佐渡へ来て
いなければ　わが法門も
まだ未完成のまま
終わったことでしょう

鎌倉では
平左衛門尉や
良観房
執権殿は
日蓮にとって
またと得難い
善知識です

この人々なくして
日蓮が仏となる道も
なかったでしょう

いったい…
なんというお方だ
やはりあなたさまは
我が主が名僧と
讃えたその通りの方で
いらっしゃる


これはお釈迦さまのみ教えなのです
身に行っていくのが信仰をするということなのです
では手前にもできるのですか
もちろんですとも自分の心の持ち方一つで この世が地獄にも極楽にもなるのです
とてもいいお話を聞かせていただきました
ありがとうございました
カァ


おや
妙な鳥が…
からすでしょうか
頭が白いからす
だなんて
珍しいですな
頭の白いからすが
飛んできた…
そうか…
お師匠さま
どういうことで
ございますか
頭の白いからすは
国に帰ることができる
という いわれが
あるのだよ
おお
それは吉兆
ですね
それでは
きっと鎌倉に
お帰りに
なれますね
おっしょうさま
よかったですね
都の風が急に
恋しくなりました

つづく

佐渡一谷

文永九年（一二七二年）、「この流人日蓮僧、蔑可きに非ず、鎌倉より制状、堅く番衆申付く可き者也」という書状が鎌倉の本間勝利から佐渡の近藤清久に送られ、この沙汰により日蓮聖人は塚原三昧堂から、一谷にある清久の館に移されます。そして赦免までの約二年半をこの場所で過ごすことになります。その中で、日蓮聖人は法華経を正しく広めるための教義の要となる『観心本尊鈔』を著述し、また「本門の本尊」を表す大曼荼羅を書き顕わします。

ある朝、日蓮聖人は「白頭のからす」が軒にとまったのを目にします。その昔、中国で長い間秦の国に捕らえられていた人が、始皇帝から、「もし頭の白いからすが出たら国に帰す」と言われ、天に祈ると、実際に頭の白いからすが現れ、家に帰されたという話があります。また日本でも紀州の熊野にいた増基法師が白いからすを見て、「山からす　かしらも白くなりにけり　我が帰るべき時や来ぬらん」と詠んだという言い伝えがあることから、日蓮聖人は「近々赦免になる瑞相である」と言ったと伝わっています。



妙法華山妙照寺（佐渡観光ガイドサイトより）

お寺の本棚

『大白牛車・堪忍読本』



因縁の世界＝「本当に悪い人」はいません

御開山上人はよく「この世の中には、本当の敵も悪人もいない」と話しておられました。どういうことでしょう。

たとえば一人「悪い人」がいたとします。はたしてその人は、いつも悪い人でしょうか。よく考えてみたいと思います。

また、今敵対している人もそうです。いつも敵かというと、決してそうではないと思います。今は相手の人を敵と思っても、いつか時が流れ、因縁が変われば、今度は善い人となり、協力者となるかもしれません。

本当言うと、相手の人が敵とか悪人と言うのは、自分のものさしで見て意に添わないから「悪い」と言っているだけで、自分の心が悪人を作り出していることに気づかなければなりません。どんな人であろうと、一から十まで悪いという人は、仏さまの世界には一人

もいません。自分の心が悪い人を作り、自分の心が敵を作っているのです。

普通私共は、自分なりの価値観を持っております。そこで、自分に合わない人を〝いやな人。嫌いな人〟と言いますが、〝気が合わない〟とか〝憎い〟と言って相手を嫌うのは、相手が悪いのではなく、相手を受け入れようとしない「自分の我」に原因があることを知らなければなりません。また、いやな人と接していると、たとえ口に出して言わなくても、顔や態度に現れるものです。相手だって、気分が良いわけがありません。

この世の中は因縁の世界です。因縁が善いと、自然に〝この人を喜ばせよう〟という気も起きますし、相手の人もそのようにしてくれますから、ますますお互いの関係は良いものになっていきます。

大事なことは、因縁を変えていくことです。人との間の因縁が悪いものであれば、自分が善い因縁に変えるように努力をするのです。

今、自分にとって敵であろうと悪人であろうと、それは今の時点の因縁にすぎません。その因縁を変えていけば、変わっていくのです。その基となる一歩が、堪忍であります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い(31)
――無量義経 十功徳品第三

善男子、第六に是の経の不可思議の功徳力とは、若し善男子・善女人、若しは仏の在世若しは滅度の後に、是の経典を受持し読誦せん者は、煩悩を具せりと雖も、而も衆生の為に法を説いて、煩悩生死を遠離し一切の苦を断ずることを得せしめん。衆生聞き已って修行して得法・得果・得道すること、仏如来と等しくして差別なけん。

「善男子よ、第六に是の経の不可思議の功徳力とは…」

《第六、治等不思議力》

「善男子・善女人が、仏の在世の時でも滅度の後でも、この経を受持し、読誦するならば、煩悩がなくならないまでも大勢の人々のために法を説いて、その人達が一切の苦から離れしめるよう教え導くことができる。そうしてその人々も教えを聞き、修行を重ね、やがて法を体得し、覚りを得て道を得ることができ、『仏如来』と異なるところのない境界にまでに進むことができるのである」

譬えば王子復稚小なりと雖も、若し王の巡遊し及び疾病するに、是の王子に委せて国事を

領理せしむ。王子是の時大王の命に依って、法の如く群僚百官を教令し正化を宣流するに、国土の人民各其の要に随って、大王の治するが如く等しくして異なることあることなきが如く、持経の善男子・善女人も亦復是の如し。

譬えば、王子が幼い身であっても、もし王さまが国中を巡遊して不在になるか、或は病気という時、その王子に国の政治を委せて万端処理せしめたとします。王子がこの時、大王の命に依って法の如く大勢の家来達に命令し、正しい政治を世に弘めていくなら、その国の人達も王子の命に随いますから、大王が治めていらっしゃる時と少しも変わりはありません。そのように、仏さまのお心を得た人が、仏さまに代わってみ教えを説く時は、仏さまが直接お説きになるのと同じ結果を及ぼすというのであります。

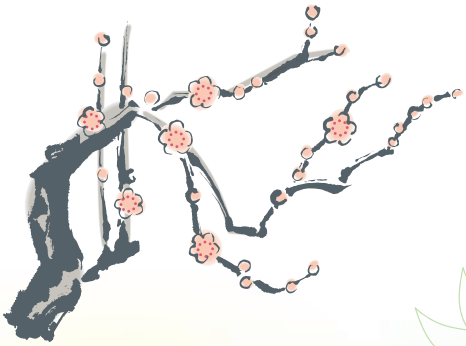
若しは仏の在世若しは滅度の後、是の善男子未だ初不動地に住することを得ずと雖も、仏の是の如く教法を用説したもうに依って而も之を敷演せんに、衆生聞き已って一心に修行せば、煩悩を断除し得法・得果乃至得道せん。善男子、是れを是の経の第六の功徳不思議の力と名く。

「仏の在世の時でも滅度の後でも、例えばその人が『初不動地』に達していなくても、仏の精神を広めて説き、それを聞いた人々が一心に修行したなら、よく煩悩を取り除き、本当の信仰を得、菩提の道を覚る

であろう」と説かれ、これを「是の経を修行する第六の功徳不思議の力である」と言われているのであります。

「初不動地」＝菩薩の十地の八「不動地」のことで、大乗の修行をして「仏の境界」に近づき、人々に善い教化を与えるという立場が不動となった境地であります。

〔法華三部経略義　巻一・一一七頁〕



ひなた

wish your heart full of happiness.

季刊誌 年4回 1月・4月・7月・10月 発刊





縁ある人にぜひさし上げてください

顕修院日達上人第十三回忌御祥月命日　報恩唱題行開催――

令和6年12月18日午後1時30分より、顕修院日達上人第十三回忌御祥月命日に合わせて、御報恩唱題行が本山にて開催され、全山にリモートで同時中継されました。

唱題前に、御題目について御開山上人のお言葉が紹介されました。

「常に南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と唱えましょう。お題目を唱えることは、仏さまの教えを信仰する者の修行です。必ず自分の生まれながらに持っている仏さまと同じ性質（仏性）、慈しむ心が伸びてきます。また、妙法蓮華経の題目を聞いた人々も、その持っている仏性が伸ばされて、よい行いができるようになります」（『御開山上人御遺稿集』13頁）

また、唱題の功徳として、①先祖へのご供養　②大難は小難に小難は無難に　③周囲の者の仏性の芽を出させる　④国土成仏　⑤自身の仏性が育つという、唱題による五つの善根功徳を解説いただいた上で、唱題行が始まりました。参加された皆さんは日達上人への報恩感謝の御題目を一心にお唱えされました。

唱題終了後は山首上人さまの本山講日での年回法要のご法話が動画で上映され、皆さん真剣に視聴されました。

《参加された方の声》

○仏さまと一体になれる感じでとてもありがたかったです。

○心が洗われました。いつも見守っていただいている日達上人に感謝しています。山首上人さまのご法話「なんとかなる」のお言葉に救われました。

○全国でお題目が唱えられていると思うと、心が熱くなりました。

○灯明の明かりの中、皆さまと日達上人のお徳を偲び、唱題行に参加できたことは本当にありがたく、涙がとまりませんでした。

○呼吸を整えて唱題行に入っていき、心が落ち着いていくのがとても気持ち良かったです。

○体の調子が悪かったのですが、心が明るくなり、調子が良くなりました。

【本山夕勤・唱題行のご案内】

場所　本山大本堂にて

●夕勤　毎日（日・祝を除く）午後4時より

●唱題行　毎月18日（顕修院日達上人御命日）
昼の部　午後1時30分より
夜の部　午後7時30分より
どなたさまでもご自由にご参加ください。



鈴木宗音上人13回忌に寄せて 日本福祉大学を語る

の記事が仏教タイムス（第3061号 令和6年12月12日）に掲載されました



日本福祉大学学長時代の鈴木宗音上人。まわりは付属の立花高校（現・日本福祉大学付属高等学校）の生徒たち（『大白牛車（十）』法音寺）

大乗山法音寺前山首・日本福祉大学元学長

鈴木宗音上人13回忌に寄せて

日本福祉大学卒業生 山口幸照 種智院大学客員教授 語る

「日本福祉大学について訊かれるのは初めてですよ。そう驚きながら取材に応じたのは真言宗智山派東円寺（栃木県市貝町）の長老で種智院大学客員教授の山口幸照氏である。仏教福祉、特に密教福祉の専門家である。入学時の日本福祉大学（日福大）学長は、この12月18日に13回忌を迎える法音寺大乗山法音寺の鈴木宗音上人（1930～2012）だった。山口氏に日福大時代の思い出や入学経緯などを語って頂いた。

「ぼくが入学したのは昭和46年（1971）ですから宗音先生は40歳くらい。学長・理事長で、入学式に出席したら颯爽としているわけです。ほかの教授陣は年寄りばかりで苦笑。頭を剃っていて、背の高い方でした。これから鈴木先生に教わるのかと感動の入学式でした」

昭和27年（1952）栃木県内のお寺に生まれた山口氏は生まれつき右腕がない。障がいを抱えての人生だが、そんな素振りはみじんも感じさせない。

名古屋市内で行われた入学式。「感動が冷めるのは時間の問題でした。時代が悪かった」と顔を曇らす。70年安保闘争は終わったが、大学紛争は続いていた。日福大キャンパスは愛知県美浜町に移転するまで名古屋市内にあった。周辺には名古屋大、名城大、南山大があるという学園都市だった。「70年安保闘争の余波で大学に入れない状況が続いていた。学生たちは大学近くの喫茶店に集まったりしていた」

進路決定にOBの影響

山口氏の進路決定の経緯がユニークだ。小学生の頃から保育士の姉について社会福祉関連の研修会に顔を出していた。中学生の時に中部社会事業短大（日福大の前身）の卒業生に出会った「金坂直仁さんという方で。栃木県の社会福祉協議会に勤めていた。姉と知り合いでした。高校生になって、大学はどこに行くのと尋ねられた。お寺生まれだけれども社会福祉に関心があり、金坂さんに相談した。金坂さんは福大の卒業をしていると言っていました。また業界紙に『福祉新聞』があって、栃木市在住の石橋俊一記者にも相談しました。この方は日本社会事業短大（現日本社会事業大学、日社大）ばかりで思想的背がない大学には行きたくなかった」

理論派と実践派の教員

金坂さんから彭山辰子、村上貞、鈴木修学といった仏教感化救済会の仏教福祉を聞いたことも要因となった。とりわけ仏教福祉を体現した鈴木修学は魅力的に映った。だが、大学には「時的入れない時期もあり、教授陣の対立も目にした。「理論派と実践派の教員が混在していたように思う。山口氏は実践派教員から手ほどきを受け、卒論指導はグループワークの専門家でアメリカのジャラ・コノプカ教授の薫陶を受けた窪田暁子教授だった。

大学卒業後、僧階取得を経て栃木県内の福祉事務所職員に。さらに日本社会事業大学大学院で学ぶ機会を得た。この時の学長が、日福大で教員経験のある三浦文夫氏だった。「三浦先生は、君ももう少し早く生まれてたらなあ、修学先生が生きている頃ならなあ、と仰っていました。修学先生をよく知る人は、その思いを知っていた。宗音先生もそれを受け継がれた。しかし修学先生の思いや苦労を知らない人たちが主導権を握っていた。宗音先生は失意の底にあったと思います」

山口氏は入学して気付いたことがあった。「自分自身に障がいがあったり、兄弟や姉妹に障がい者がいたり、自身が困難を抱えた同級生が多かった」。もう一点は、お寺出身の学生がそれなりにいたこと。日蓮宗に限らない。共に問題意識をもって入学していた。

大切な「如我等無異」

少しずつ記憶が呼び戻してきた山口氏は、宗音学長の講義の一端を口にした。「法華経というお経がある。法華経の『経』がお経の『経』ではなく、『教』になることが大事だと話された。すなわち法華教だと。何かの本に書いてあったかもしれない。



やまぐち・こうしょう／1952年生まれ。日本福祉大学卒。日本社会事業大学大学院修士課程修了。淑徳大学大学院博士課程満期退学。専門は社会福祉、地域福祉、仏教・密教福祉など。高野山大学教授、密教福祉研究所長などを歴任。現在種智院大学客員教授、福祉事務所、社会福祉法人（特養）社会福祉協議会等の職員経験もある。栃木・真言宗智山派東円寺長老。

「経」から「教」へ。読むお経から、実践を伴う教えという意味か。戦後間もなくしてスタートした福祉大学は3つ。「GHQの指導で日本社会事業学校（現日本社会事業大学）と大阪社会事業短期大学（現大阪府立大学社会福祉学部）ができた。設置者は厚生省と大阪府。しかし中部社会事業短大は違う。民間で宗教を基礎にする大学。法音寺の人たちの浄財で始まっている。それを忘れていませんか」と問いかける。

やや辛口の山口氏だが、法華経方便品の「如我等無異」を建学の精神とする日福大の原点は大切だと訴える。社会福祉協議会や福祉施設での臨床体験と、仏教福祉・密教福祉の研究から、宗教や哲学不在の福祉はあり得ないという考えに至ったからだ。「現在の日福大は、ほくの通った頃の大学とは違う大学」と言いつつ、秘かに仏教福祉を掲げる大学への変化を期待する様子も見える。

法音寺は「信仰と福祉のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功徳**”が積み重ねられています
（功徳とは、「幸せを引きよせる種」です）
その功徳が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献



社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達の
お世話をさせていただいています



福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します

児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の
生活を支えています

保 育 園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児･障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています







福祉のひろば

SINCE 1912
SHOTOKUKAI

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY



幸せのお手伝い

～いつでも帰ってこられる場所～

退所後支援のむずかしさ

私が昭徳会に事務職員として入職し、十年が経ちました。昭徳会に入職するまでは福祉事業のことをまるで知らなかったため、驚きの連続であったことを思い出します。現在は児童養護施設で職に就かせていただいております。児童養護施設の八年間で、多くの子ども達との出会いと別れがありました。

児童養護施設に入所してくる子ども達はさまざまな家庭環境や生育歴を背負っていて、支援や養育が簡単ではない場合も多々あります。現場の職員の方々が悩みながらも必死に子ども達と向き合う姿を見て来ました。その中でも特にむずかしいと感じるのは、施設を退所した後の子ども達への支援です。高校卒業後に進学や就職で施設を巣立

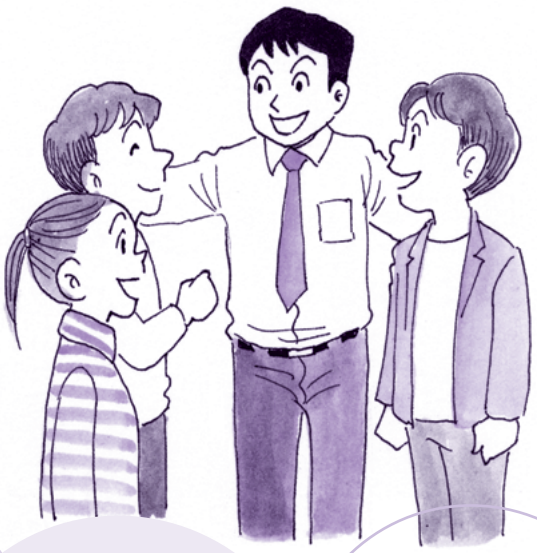


っていきますが、新しい生活環境や人間関係にうまく適応できず、退学や退職を選ぶ子どもも少なくありません。そのまま連絡が取れなくなるパターンも多く、支援を行いたくても何もしてあげられず職員としてのもどかしさや無力さを感じます。

そのような中でも、卒寮生のつどいや行事等へ参加し、成人式等の節目の際に施設を訪れ、近況報告をしてくれる子どもも沢山います。職場の悩みや恋人の話、将来の不安…いい時もうまくいっていない時も、どんな時でも顔を見せてくれるだけで職員としてうれしくなり、支援できたことに喜びを感じます。

児童養護施設で育った子ども達にとって施設が実家の一つであり、何かあった際には頼り、振り返って戻ってこられる場所にしたいと考えています。そのためにも日々の生活が子ども達にとって幸せなものになるよう努力する必要があります。子ども達が気づかせてくれることに感謝し、一人でも多くの子どもが帰ってこられる施設となるよう努めていきたいと思います。

名古屋若松寮　事務員　楢崎　潤



新年祝祷会に昭徳会ブースを出店



写真提供・昭徳会

社会福祉法人　昭徳会
～三法人連携強化の取り組み～

令和6年度は、法音寺に来られる皆さんに、社会福祉法人昭徳会のことをもっと知っていただきたいとの思いから、法音寺で開催されるさまざまな行事にて、昭徳会ブースを設けております。

既に、昭徳会は、鈴木修学先生が初代理事長として福祉事業を行ってきた社会福祉法人であるということは、皆さんにご理解いただいています。しかし、各施設が具体的に、どのような取り組みを実施しているのかまでは、法人としてお伝えする機会が少ない状況でした。そのため、法音寺の行事の際に、昭徳会ブースを設け、障がい分野の商品販売や、昭徳会主催イベントの案内をさせていただくこととしました。

そして、令和7年1月1日から1月3日までの三日間についても、法音寺の新年祝祷会に昭徳会ブースを設置して、障がい分野三施設が、各施設で作っている商品の販売をいたしました。

小原寮は農福連携の取り組みで、初めて収穫した「お米（おばらいす）」、泰山寮は小原寮の陶器を植木鉢に使用した「多肉植物」、授産所高浜安立は「ぱりまるたません」「福袋」等、さまざまな商品を販売しました。

当日は、多くの皆さんに商品を手に取っていただき、「小原でお米を作っているんですね」「多肉植物の鉢植え、かわいいですね」「毎年、福袋を楽しみにしています」などと、法音寺に来られた方から、販売担当職員に声をかけていただく場面も多く見られました。

今後も法音寺の行事開催時に、昭徳会ブースを設けて、各施設の取り組みを発信し続けていきたいと思います。

昭徳会は、日本福祉大学との連携強化も進めており、先の月刊誌『法音』にて掲載いただきましたが、昭徳会ブースを大学祭にも出店しております。また、各施設の取り組みを知っていただく機会として、毎年度「福祉実践発表会」を開催しております。今回は、令和７年２月24日（月）に日本福祉大学東海キャンパスにて、障がい分野の施設による取り組みを発表いたします。

今回の実践研究発表会では、障がい分野の施設による取り組みの様子をＹｏｕＴｕｂｅ（昭徳会チャンネル）で配信いたします。

ぜひ、この機会に「福祉実践発表会」もご覧いただけますと幸いです。

社会福祉法人昭徳会　三法人連携室　纐纈　純司

社会福祉法人 昭徳会
第17回 福祉実践発表会
（障がい分野）

社会福祉法人昭徳会は、高齢・障がい・保育・児童の福祉４分野で19施設、62事業を運営しており、毎年、施設の取り組みを発表する「福祉実践発表会」を開催しています。
今年度は、**「障がい分野」の発表**です。ぜひ業界研究の一環として、各施設の取り組みを聞き、最優秀施設を選んでください！

1. 日　　時 ： 令和７年２月24日（月）13：30 ～ 16：10（受付 13：00～）
2. 会　　場 ： 日本福祉大学 東海キャンパス（愛知県東海市大田町下浜田 1071 番地）
3. 参加費用 ： 無 料
4. 参加対象 ： 高校生、専門学校生、大学生
5. 発表内容

日本福祉大学　東海キャンパスを見学できます！（一部立ち入り不可）

発表施設	発表テーマ
障がい児入所施設 小 原 学 園	次はどんなあなたに会えるかな？ ～やりたい！なりたい！を叶えるために～
障がい者支援施設 小　原　寮	新たな一歩 ～障がいのある人が地域であたりまえに暮らすために～
グループホーム さ　く　や	「ひとりでできるもん」 ～地域と手と手を取り合って～
障がい者支援施設 泰　山　寮	入所施設から共同生活援助（GH）への サービスの切り替え「地域移行」 ～あなたはどこで暮らしますか？～
障がい福祉サービス事業所 授産所高浜安立	ぱりまる販路拡大への挑戦 ～みんなで力を合わせて～

☆ この実践発表会の様子をYouTubeにて限定ライブ配信予定です。
（視聴希望者にはURLをお送りしますので、申し込みフォームからご連絡ください。）
☆ 会場参加の学生の皆様には、交通費のサポートがあります！

【お申し込みはこちらから】
YouTube視聴希望の方もこちらからどうぞ
※悪天候等により開催を中止する場合には、昭徳会のホームページの「お知らせ」にてご案内いたします。

【お問い合わせ先】
社会福祉法人昭徳会　法人本部事務局
（福祉実践発表会担当：金子・杉山）
TEL ：052-831-5171
MAIL：saiyou@syoutokukai.or.jp
日本福祉大学へのお問い合わせはご遠慮ください

〝ふくしの総合大学〟で学ぶ「看護教育」について、学長が教員をインタビューしました。

～日本福祉大学～

さまざまな分野で活躍する本学の教員や学生を、原田学長が定期的にインタビューしてWEBページで発信している『Ｔａｌｋ Ｒｏｏｍ「マスター」日福大の「今」が見える談話室』。今回は、本学大学院看護学研究科長で、看護学部教授の岡田由香先生に、専門領域や、〝ふくしの総合大学〟に設置された看護学部ならではの魅力についてお話をお聞きしました。

女性の一生の健康にかかわるウィメンズヘルス

原田学長　岡田先生の専門領域について教えていただけますか。

岡田先生　私は主にウィメンズヘルス領域を専門としています。病院での助産師の仕事は、妊婦健診や産後健診に関わり、分娩時には赤ちゃんを取り上げ、産後から退院するまでの間は育児の技術や母体を回復させるためのセルフケアについての保健指導などを行います。このように周産期の女性の健康を考えることはもちろん大切ですが、それ以外にも思春期や更年期、老年期など、女性の一生の健康を考えることがウィメンズヘルスの研究領域となります。日本の看護分野では、主にアメリカの研究成果やエビデンスが取り入れられています。アメリカがかつて男性中心の社会だった影響もあり、研究成果の多くは当時の男性を対象としたデータにもとづいています。したがって、女性の健康（ウィメンズヘルス）についての研究は遅れていました。しかし、女性は性周期に伴う健康課題があり、性周期を持たない男性との違いがあります。また、その影響は同時に次世代へも影響します。その例として〝思春期やせ症〟は月経不順や不妊につながり、女性の一生の健康にも影響を及ぼすだけでなく、その女性が妊娠した場合、低栄養状態が胎児に引き継がれ、赤ちゃんの出生体重が低下し、その赤ちゃんが成人すると生活習慣病に罹患するということがわかっています。このように、女性に特化した健康を考えることが、女性の生き方の変化や、少子社会の招来など我が国の社会背景とあわせて、未来と密接に直結している分野であると思っています。



原田学長　本学の看護学部や看護学研究科でも女性看護に関する教育や研

究が展開されているのですか。

岡田先生　本学の看護学部では、周産期における母性意識や母性機能を最大限に発揮できるよう支援する医療に特化した、母性看護学という領域に焦点が当てられていますが、看護学研究科（大学院）では『ウィメンズヘルス看護学領域』を立ち上げ、実践に活かせる研究力を養成しています。

〝ふくしの総合大学〟で学ぶ看護教育

原田学長　日本福祉大学の看護学部の学びの特徴について教えていただけますか。

岡田先生　看護学部が〝ふくしの総合大学〟の中にあることは非常に価値のあることだと感じています。看護は人の命や人の健康を支えますが、その先にはその人の〝生活〟があります。私自身、生活を支え整える福祉と看護は切っても切れない分野であるとずっと思っていました。〝ふくしの総合大学〟に現在の看護学部が設置されることを知り、とても魅力に感じたことを覚えています。また、『所属する学部学科に関わりなく、すべての学生が身につけて卒業してほしい4つの力』として示されている『日本福祉大学スタンダード（伝える力／見据える力／共感する力／関わる力）』が看護師の養成に求められる要素と一致しており、これらのことが日本福祉大学の看護学部で学ぶことの魅力であると感じています。

原田学長　看護師をめざしている現役の学生や、現在看護師として働く卒業生に期待することはありますか。

岡田先生　日本福祉大学の看護学部は基本的な実践能力を養うことを大事にしています。本学部を卒業し、現場に出てからも患者さんお一人おひとりの命と健康に向き合い、大学で学んだことを糧に実践し続けてもらいたいと思います。

原田学長　最後に、日本福祉大学の教育について先生が感じられていることについて教えていただけますか。

岡田先生　学園創立70周年宣言でもある『Well-being for All』の概念が私はすごく好きです。心と体が健康でないと良好な状態は保てず生きづらくなってしまいます。人の命と健康を守り育む看護の視点を大切にしながらこれからも教育や研究を続けていきたいと思います。

原田学長　医療面でサポートする看護と、生活の福祉が一緒になって、それぞれの『Well-being』がつくれるといいですよね。

Ｗｅｂサイトではこのほかにも多くの教員・学生のインタビューを掲載していますので、ぜひご覧いただければ幸いです。

日本福祉大学　学園広報室　松岡英貴



「母性看護学」での講義の様子

日本福祉大学　トークルームマスター　検索

幸せの種まき

お互いに〝ありがたい〟と喜び合えたらすばらしい世界になります

思うようにならないことが
先に頭に思い浮かぶと
〝ありがたい〟と喜べません

大乗山　法音寺

編集後記

私達は幸せを求めるばかりに、現状に不満をもち、今思い悩んだところでどうしようもないことを延々と考え続けてしまいがちです。また、客観的には些細なことでも、心が穏やかではなくなってしまうことがあります。

そんな私達に日達上人は「大丈夫、なんとかなる」と優しく説いてくださいます。

「身の回りのすべてのことに感謝するようになると、思い煩うことがなくなってきますよ。なにより、生きている内に徳を積みましょう」

『大白牛車・堪忍読本』を読んでいると、日達上人のそんなお声が聞こえてくるようです。

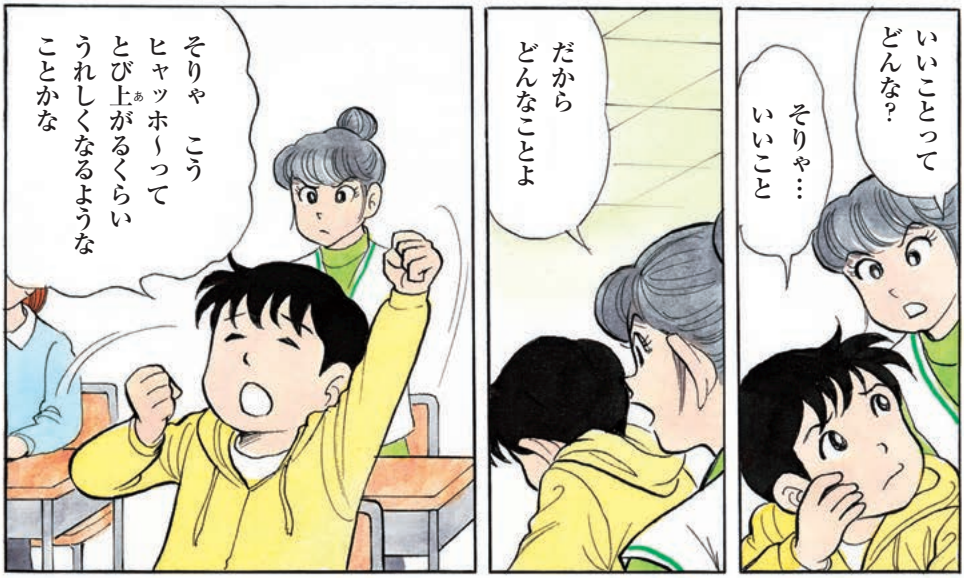
私達は、豊かな時代に生きているがゆえに、日々感情のままにさまざまなことを考えすぎて、逆に縛られているのかもしれません。感謝で日々の不満を解消し、心に余裕をもたせることによって、軽やかな生き方ができるようにしていきたいものです。そのためにも、先師が私達のために遺してくださった尊い教えを心の杖にしていきましょう。

ひまわり #145

思いの種まき

竹中 淳






だからって　不機嫌にため息ついてたっていいことなんかないよ
帰るよ
一日中あの調子
わたしの席までため息聞こえてた
あ
ボーッとしててノートを買うの忘れてた
こんな所にコンビニあったっけ？
ボクも初めて　近くにあってよかったぁ
ピンポーン
あれ　だれもいないのかな
お客さんもいないね
すみませ～ん


だれか
いませんか？
あ
なに!?
あのう　ノートは
どこですか？
その辺に
あんじゃねぇ　そこに
なきゃ
ねぇな
夢ちゃん
…
ほか
行くよ
いらっしゃいませー
ありがとう
ございました
お気をつけて
お帰りください
感じのいい
店だったよ
あの店とは
大違い！
ぶあいそうで
不親切…
いらっしゃいませが
言えないんだもんね
あんな店にはもう
二度と行かないよ
行ってももう
その時　店は
なくなってるよね


あのお店のお兄さんと
今日の不機嫌な
蓮と　そう
変わんないよ
だってそうでしょ
不機嫌で
何もしないで
いいことがないか
待ってる
だけでしょ？
でも　いいことが
あるから明るく
元気に笑顔に
なれるじゃないか
それって逆でしょ
わたしはいつも元気で
明るく笑顔でいるよ
だからいいことが
いっぱいあるもーん
わたしもそう思う
あのお店のお兄さんが
元気で明るかったら
もっとお客さんが
入るんじゃない？
なるほど
でさ　蓮がいってた
ヒャッホ〜って
とび上がるくらい
いいことってなに？
ほら　あるだろ
おいしいもの食べたい
んだけど　何って
出てこないことって
なによ
それ


そんなモヤモヤした気持ちのまま何日かが過ぎ…
それがひまわりの種？
そうだよこれからまくんだ
ひろみちゃん達と行っていい？
おいでよ先生も来るよ
花田くん達ひまわりの種をまくんだって行こうよ
うん
みんなボクがあけた穴に種を2コずつまいてくれる？
はーい
はーい
はーい
みんなどんな気持ちで種をまいた？
力強く大きく育ってくれよって
ボクもひまわりのように明るく元気な人になれたらいいなって思った
わたしも！
そうねみんながひまわりのように力強く明るくなりたいという思いの種を
自分の心にまけばきっと将来力強くて明るい人になれると思うわ

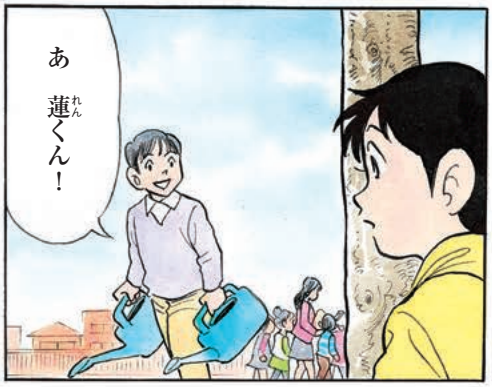

先生　思いの種をまくってどういうこと？


このひまわりの種のように目に見える種ではないけれど思いの種はみんな一人ひとりの望むものを形にしてくれるのよ
思うだけでいいの？


思いをあなどっちゃいけません
マザーテレサってりっぱな女性がこんなことを言ってます


思いはいつか言葉になり言葉はいつか行動になり行動は習慣となり習慣はいつか性格になり性格はいつか運命となる…ってね


もちろん努力はかかせないわよ


あ　蓮くん！

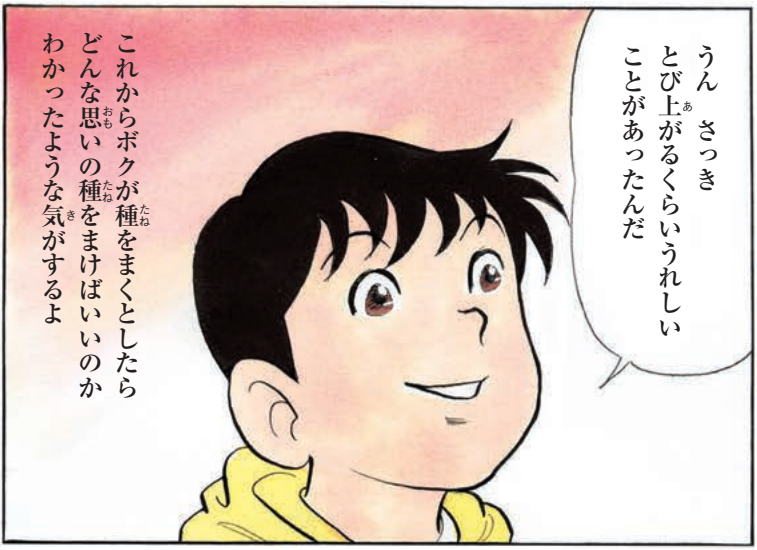

水を汲みに？
うん
手伝うよ
ありがとう
そういえばさ…
蓮くん
4-3
どこ行ってたのよ
種まきに来たら
よかったのに
なによ
ニタニタ
しちゃって
今 花田くんに
会ってね
一緒に水やりを
してたんだ


蓮くん　9月に
この花だんの雑草を
刈るの手伝ってくれただろ
しかも友達
大勢連れて
きてくれて
あの時は本当に
助かったよ
蓮くんがいなきゃ
今日こうして
種まきできてないよ


あの時　ボク
ちゃんと　お礼を
言ったかな…
おぼえてないから
今言わせて


ありがとう
役に立てて
良かった！


いいことあった
みたいだね


うん　さっき
とび上がるくらいうれしい
ことがあったんだ
これからボクが種をまくとしたら
どんな思いの種をまけばいいのか
わかったような気がするよ

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がいました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後（昭和22年）のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日
毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
二次元バーコードから
ご覧いただけます。

毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらの
二次元バーコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。

YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらの
二次元バーコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで
法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
https://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
https://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和7年2月号・No.664・令和7年2月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社